大分県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	60点
問題構成	概要について 大問５題で構成されている。[一]知識事項（漢字含む）・[二]文学的文章・[三]説明的文章・[四]古典・[五]作文である。 [一]10点配点で、内訳は漢字4点、同音異字・同訓異字で2点、話し合いの内容について4点である。 [二]は文学的文章で15点配点、[三]は説明的文章で15点配点、[四]は古典で10点配点、[五]は情報の整理で3点、作文7点、計10点配点である。 出典について ［二］高田郁『星の教室から』 ［三］藤井一至『土と生命の46憶年史』 ［四］白楽天『白氏文集：暮江吟』 各大問の「記述式」問題の出題について ［二］で出題された記述式は１問で、25字～35字で、本文についての先生と生徒の会話から出題された。 ［三］で出題された記述式は２問で、どちらも本文についての先生と生徒の会話から出題された。 ［五］は「パンフレットに用いる書体」について、資料をもとに意見を述べる作文。 今年度は知識事項では幅広い語彙力を問う出題が見られた一方で、抜き出し問題は傍線部の近くから答えを探しやすい出題が多く、記述式問題も前後の文が与えられているため、考えやすい問題だった。		

	令和８年度(2026)	令和７年度(2025)	令和６年度(2024)	令和５年度(2023)	令和４年度(2022)
問題量（A4で）	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分
小問数	31問	31問	29問	30問	29問
論述問題の数	４問	５問	６問	５問	５問
論述問題配点	16点	16点	20点	18点	17点
受験者平均点	32.0点	33.7点	27.5点	33.3点	33.4点

【出題の傾向と対策】

[一]「話し合い」では、文章の構成や発言の意図について問われている。

[一]から特徴的な問題を**PickUp！**

問三（1）Bさんの発言として、［　　］に入る最も適当なものを、次のア～工のうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

（2）【話し合いの一部】のDさんの発言について最も適当なものを、次のア～工のうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

☞本問で注目するべきところ

（1）私も、その方が良いと思います。そうすると、Aさんがめじろん公園をおすすめする理由である二つの内容がつながりますね。

（2）私もCさんの意見に賛成です。Aさんは、めじろん公園を、特にどんな人におすすめしたいと思っていますか。

☞考え方と傾向

いずれの問題も選択肢だけで判断せず、本文の解答の根拠となるところに注目して解答しよう。文章量自体は多いが、選択肢には明らかな「外す」ポイントがあるので見逃さないようにしよう。

②[二]「小説文」では「様子」や「心情」の読み取りなど、情景の理解について問われる問題が目立った。

[二]から特徴的な問題を**PickUp！**

問四　（　　）に当てはまる言葉を、本文中の言葉を使って、25字以上34字以内で書きなさい。

（答え：【例】自分は校門を潜る勇気がなかったが、さやかにはその勇気をもってほしい）

「蕗子」は「さやか」に対して（　Ⅳ　）ということを伝えようとしていると思います。

☞本文で注目するべきところ

蕗子の言葉「もう、私らみたいに無駄な歳月を過ごさせとうはないんよ。」①

「フェンス越しに授業を覗くだけで、校門を潜る勇気がなかった」②

☞考え方と傾向

①の部分を使用して解答しても、配点3点に対し2点は獲得できる。ただ、確実に得点するためには「私らみたい」の部分を説明する内容（②）が求められる。「指示語をそのまま使用しない」といった約束事のように、採点者が「これはどういうこと？」となりそうな書き方をしないよう、要素を過不足なくまとめよう。

③[三]「説明的文章」では、文章からだけでなく図やノートにまとめた問題も出題されている。

[三]から特徴的な問題を**PickUp！**

問二(1)　本文の【図】の説明内の[　X　]と【発表原稿】内の[　X　]には同じ言葉が入る。最も適当な語句を【図】の中から一つ抜き出して書きなさい。（答え：休閑）

☞本文で注目するべきところ

本文：耕作後に畑を草原や森林に戻して土を休ませて（休閑という）…。

☞考え方と傾向

「まず」「次に」「～の後に」といった言葉が、どのような矢印として表現されているかを考えて解答しよう。文章全体を広く読む能力も大切にしつつ、細かく丁寧に読んで解答できるようにしていこう。

④[四]返り点の問題や漢詩の形式、行書体についての問題など幅広く出題されている。

[四]から特徴的な条件を**PickUp！**

問四(3) Aさんが描いた漢詩の後半の情景として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その記号を答えなさい。（答え：ア 選択肢のイラストは省略）

☞本文で注目するべきところ

結句の「露は真珠に似、月は弓に似たり」の部分を根拠として考えよう。

☞考え方と傾向

漢詩中の比喩表現に注意。韻文が出る際はこの傾向が強いので、普段から練習しておこう。

④[五]読み取るべき資料が5種類あり、情報量も多い点が特徴的である。

[五]から特徴的な条件を**PickUp！**

条件　・選択した書体がふさわしい理由を挙げ、【資料１】からわかることを１つ、「書体にまつわるあなたの具体的な経験・見聞を」１つ書くこと。

・1行目の1マス目から書き始め、行は改めないこと。

☞考え方と傾向

段落分けをせず、1マス目から書き始める点は注意が必要。いつ出題形式が変わるかわからない。以上の点も含めて条件を必ずチェックする習慣をつけておこう。

作文例：Ⅱを用いるのが良い。このパンフレットを多くの人に見てもらいたいので、文章中の強調したい部分に使われることが多いⅡは目的と合う。また、以前他のパンフレットを作成した際、表紙は太い字のほうがわかりやすかったのでⅡを選択する。（111字：報道・掲示用模範解答より）